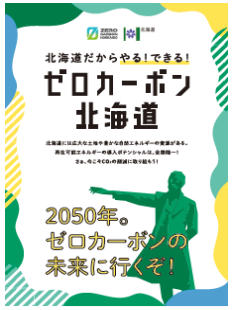
北海道 HOKKAIDO GOVERNMENT

企業版ふるさと納税の主な活用メニュー

道において企業版ふるさと納税を活用して、
皆様から応援いただきたいプロジェクトの一例です。



ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組

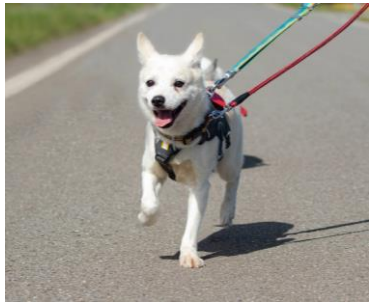
＜関連するSDGsの目標＞

道では、2050年の「ゼロカーボン北海道」の実現を目指し、再生可能エネルギーの導入加速化や省エネルギー推進等の施策を中長期的に展開するため、ゼロカーボン北海道推進基金を設置しました。地域が行うエネルギーの地産地消の取組、産業の振興や技術開発の促進、普及啓発、人材育成などの取組に活用させていただきますので、ご支援をお願いします。

赤れんが庁舎改修事業

＜関連するSDGsの目標＞

北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）は、重要文化財として国の指定を受けた北海道を代表する歴史的建造物ですが、昭和43年の復原工事から50年を経過し、劣化が著しく進行しています。先人から受け継いだ貴重な財産の歴史的価値を保存し、後世に伝えていくとともに、北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点として利活用するための取組を進めています。赤れんが庁舎改修事業へのご支援をお願いします。



動物愛護管理センターの運営

＜関連するSDGsの目標＞

道では、令和５年度から動物愛護センターの運営を開始しました。動物の命を尊重し、人と動物が安心して暮らせる社会のため、動物の愛護及び適正な飼養に関する普及啓発や新しい飼い主への譲渡など、センター運営の取組へのご支援をお願いします。

ドローンの利活用促進

＜関連するSDGsの目標＞

広大な面積を有し、人口減少下にある本道において、ドローンは、地域課題の解決や利便性の向上に寄与することが期待されています。北海道では、これまでワンストップ窓口の運営や積雪寒冷条件下での実証実験など、ドローンの利活用促進に取り組んでいます。また、令和６年には国と共催で「ドローンサミット」も開催します。物流や防災、医療、観光など利活用分野の更なる拡大に向け、ご支援をお願いします。

北海道未来人財応援事業

＜関連するSDGsの目標＞

少子高齢化が進む一方、急速なグローバル化が進展する北海道の未来に向けて、学生留学をはじめ、スポーツ指導者や若手芸術家、食やものづくりの職人など、意欲と能力のある若者の海外チャレンジを支援しています。将来の北海道に貢献する人材を育成するとともに、支援した若者の道内での活動を促進し、道内定着へつなげるため、ご支援をお願いします。

北海道立学校ふるさと応援事業

＜関連するSDGsの目標＞

北海道の次代を担う子どもたちが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、ふるさと北海道を支えるたくましい人材へと成長できるよう、指定する北海道立学校の教育活動や、全ての道立学校を対象とした留学機会の確保、商品開発や販売実習に向けた取組、空調整備等へのご支援をお願いします。

企業の皆様と共に取り組むプロジェクト

道や道内市町村において、企業の皆様に支援いただきたい主な取組をまとめた「企業の皆様と共に取り組むプロジェクト」をほっかいどう応援団会議のポータルサイト内でご紹介しています。企業版ふるさと納税や協働活動の検討にあたり、ぜひご活用ください。